

*** 日本天文学会発行の東京天文台の絵葉書**

2009年7月22日の皆既日食の際、パンフィック・ヴィーナス号に乗り合わせ面識を得た渋谷星の会の小川誠治氏から戦前の東京天文台の絵葉書のいくつかを提供された。アーカイブ室新聞 253号で紹介した60m鉄塔が3本立った写真もその絵葉書の一つである。筆者はそれ以前にインターネットで20cm彗星搜索鏡の写真を探すために、検索していた際、東北大学図書館のリポジトリ (<http://hdl.handle.net/123456789/28042>) の中の東京天文台絵葉書第4集の中に発見していた。小川氏から送られてきた絵葉書の写真は、日本天文学会発行の東京天文台絵葉書第5集であった。東北大学図書館のリポジトリに所蔵された絵葉書は日本天文学会発行の第3集、第4集、第5集だが、下の写真1が収蔵されていた全てである。



写真1 東北大学図書館のリポジトリに所蔵された絵葉書

東北大学図書館のリポジトリに所蔵された絵葉書は、第3版が5枚組み、第4版が4枚組み、第5版が6枚組と考えれば、第3版、第4版、第5版の全てと思われるが、第5版を6枚組とするにはA-01226は番号が離れすぎている。写真2が3組の絵葉書の袋であろう。

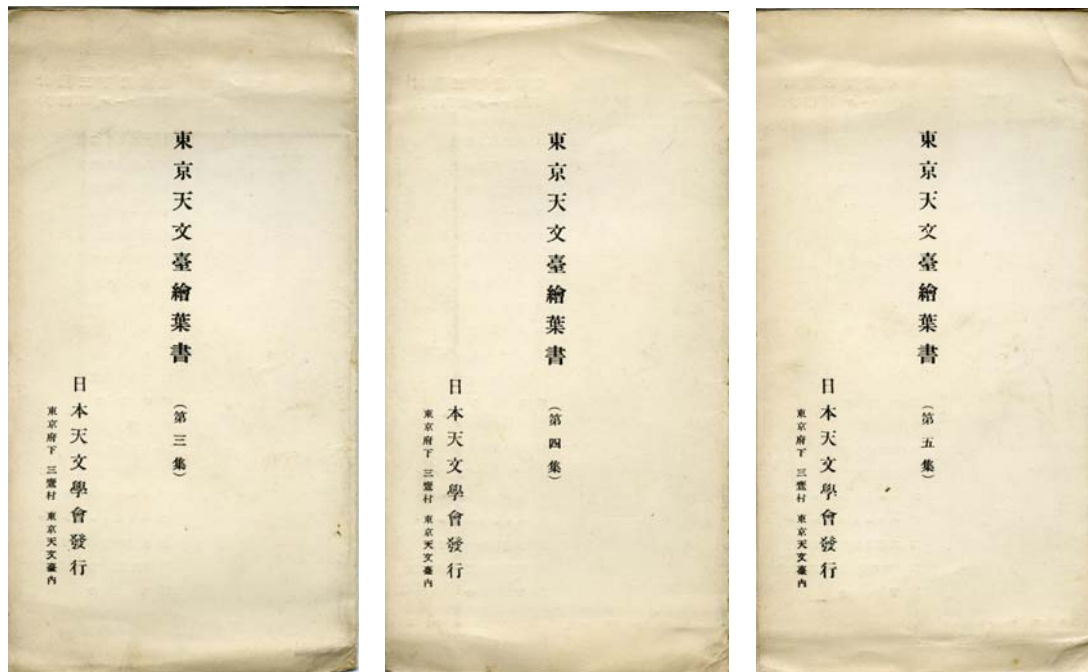


写真2 第3版、第4版、第5版の絵葉書の袋と思われるもの

写真3が、小川氏が提供してくれた絵葉書である。第5版の袋があり、A-00510、A-00511、A-00512、A-00513の4枚のほかに、子午儀と東京天文台の施設の配置図（写真4）が添えられているが、この2枚は別のコレクションではないかと思われる。



写真2 小川氏提供の東京天文台の絵葉書

筆者は、これらのうち、東京天文台の施設配置図ははじめてみるものであり、また、絵葉書 003 は 60m 鉄塔が写っているので非常に興味深かった。日本天文学会の事務所は東京天文台の中を転々と移ったからこのような古い絵葉書が残っていないかもしれないが、現在の事務所に尋ねてみたい。こういったことは東京天文台の「見学の葉」についても言える。戦後長い間「見学の葉」は職員組合が発行していたが、職員組合の事務所も天文台の都合で転々としているし、代表者は 1 年で交代しているからなおさらのことであるが、これについても尋ねてみたい。小川氏から昭和 27 年の見学の葉の表紙と目次、うら表紙を送っていただいている。これについては項を改めたい。